

学校教育目標

地域の実態

- ・穏やかな農村地帯。
- ・地域みんなで協力して子どもを育成していこうという気持ちが強く、保護者・地域の支援が大きい。
- ・基礎学力の定着及び複式教育の充実の願いが強い。

心豊かに かしこく たくましく生きる児童の育成

— 認め合い支え合い 深い学びを求めて

最後まで挑戦する 児童 —

めざす子ども像 (育てたい資質・能力)

- ・自ら学ぶ態度を身に付け、問題解決する子 (知識・技能)
- ・認め合い支え合い 自ら伸びる ともに伸びる子 (思考力)
- ・目標を持ち、最後まで挑戦する子 (チャレンジ精神)

児童の実態

- ・元気で明るい。
- ・縦割り集団で協力して行動できる。
- ・受け身・指示待ち傾向がみられるがやるべきことはやる。
- ・お互いが磨き合い、さらに高まろうとする意欲が弱い。



研究主題

「主体的に学ぶ児童の育成」

～自分の考えや思いを表現する活動を通して～

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力の育成

コミュニケーション能力
の育成

見守り型支援
(算数科)

主体的な学び

個に応じた
手立てや
支援の工夫

学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

- ・基礎学力の定着
- ・個に応じた手立ての工夫
- ・意図的・計画的なドリル学習の実施(ぐんぐんタイムの設定)
- ・家庭学習の充実(算数科における予習・復習, 個に応じた内容)
- ・体力づくりの充実(朝マラソン・なわとび)
- ・縦割りグループをいかした掃除活動やそば体験活動
- ・体験活動を通して育まれる規範意識・集団意識